

子供宝也

No.31

平成 24 年 11 月 15 日

尼崎市立武庫東小学校 校長 大楠正治

何を読んでいるのかな？

図書室で**3年2組**が読書の時間でした。「何を読んでいるのかな？」興味津々で見て回りました。一番多かったのは「…の秘密」。「テレビゲームの秘密」や「有毒生物の秘密」、「大豆の秘密」といった本でした。『秘密』には興味をそそられますよね。

次が宮崎駿シリーズ。「もののけ姫」「ハウルの動く城」「風の谷のナウシカ」。私も大好きです。

その次は「おばけ」「妖怪」「こっくりさん」といったこわ〜いお話でした。

それにしても、3年生ぐらいだと興味が長続きせず、しょっちゅう席を立っては本を替えるといった光景がよく見られるのですが、集中していて、しっかり本の世界に入り込んでいるといった感じでした。えらい、えらい。これからもたくさん本を読んでほしいと思いました。

どこの国に行きたい？

6年2組は外国語活動の時間でした。今まで見てきた外国語活動の時間は、ゲーム化したものが多く、英語への抵抗感をなくすことに重きを置いていたように思いました。この授業もその一連の流れのなかにある授業だとは思いますが、ちょっと英会話っぽいなあと感じました。(あとで聞いたのですが、この前にやっぱりゲームはしたのだそうです。)

今回は主として指導にあたるのが日本人講師、担任の先生はどちらかというサポートといった複数指導の形態をとっていました。パソコンからテレビを通して「Where do you want to go?」(あなたはどこへ行きたいですか?)。文法、文法といった英語教育を受けてきた私。文字にするとなんとか理解できても、これを本物の発音でこられるとちょっと困ってしまいます。「う〜ん。」としかめつつらをして前を見ると、担任の先生も同じような顔をしていました。

でも、子どもはすごいです。結構楽しんでいました。文字がなくても耳で学ぶんですね。確かに私自身、母親をはじめとする周りのおとなの言葉を聞いて話せるようになったのですから、当たり前と言えば当たり前のことかもしれません。何年かたって街で会ったとき、どんなおとなになっているのか楽しみです。

おとなも子どもも・・・

14日は、まさに小中連携の日になりました。午前中は、採用4年目の先生が中学校の授業見学に行きました。見学だけではなくて実際の指導の手助けもしました。私も教室に入りました。なつかしい顔がたくさんあって、楽しかったのですが、子どもたちがこちらの方ばかり見て授業にならないようだったので、早々に引き上げました。

午後からは、子どもたちの番です。もう恒例となったクラブ体験でした。終わる間際にグラウンドに行きました。中学生に混じって野球やサッカーをしていましたが、結構やるなあといった感じでした。でも、中学生の体の大きさには驚かされました。2年生にもなるとほんとうに立派な体です。あの体で本気になったら、結構やるなあといった感じはふっとばされたでしょうね。

夕方には、進路説明会に行きました。今日は武庫東中との間を3往復もしましたが、卒業生が声をかけてくれたのでとてもうれしい1日になりました。